

2026年鈴鹿サンデーロードレース第3戦 参戦報告書

HRS Motoアドバンスコース生3名が表彰台を独占
ナショナルクラス3連勝を決めた久原がチャンピオンに輝く

◎8月1日(土) 公式予選/10:55~11:15 ◎天候・路面 Fine/Dry

#54久原士2'22.939 予選2位 / #71中山結互 2'23.260 予選4位
#23高橋慶志郎2'23.829 予選7位

真夏の陽気の下で行われた鈴鹿サンデーロードレース第3戦。気温は35度を超え、路面温度も上昇し、好タイムを記録するには厳しいコンディション。予選は定刻より10分遅れでスタート。#71中山結互、#23高橋慶志郎が続けてコースインし、しばらく間をおいてから#54久原士が単独でピットアウトしていく。

セッション開始直後、2024年チャンピオンの針尾大治郎選手が2分21秒台を記録してトップに躍り出る。中山、久原は1周目から23秒台に入れてくる。前日のスポーツ走行では振るわなかった高橋も24秒台前半までタイムを削り、3名とも好調な走りをみせる。3周目には単独で走行していた久原が2分23秒042で2番手に浮上する。序盤2番手につけていた中山はタイムがなかなか縮まらず、ポジションは徐々に下がる形に。高橋は5周目に23秒台に入れて全体で6番手にまで上がる。

23秒台前半でラップを刻む久原は、6周目にベストとなる2分22秒939を記録する。依然2番手をキープしており、その後久原のタイムを上回るライダーは現れず、予選2位が確定した。一時は6番手にまでポジションを落としていた中山だったが、最終ラップに23秒260までタイムを更新して4位。高橋は5周目のタイム23秒829がベストとなり、7番手となった。



















































2026年鈴鹿サンデーロードレース第3戦 参戦報告書

◎8月2日(日) 決勝レース(フルコース10周) ◎天候・路面Fine/Dry

#54 久原昂士 総合2位/ナショナル1位/NSFチャレンジ1位

#71 中山結互 総合4位/ナショナル2位/NSFチャレンジ2位

#23 高橋慶志郎 総合7位/ナショナル3位/NSFチャレンジ4位

前日同様、快晴の中で行われた決勝レース。強い日差しの中、午前9時15分、全18台が一斉にスタートを切る。2番グリッドからスタートを切った久原はストレートで伸びを見せてホールショットを決めると、中山も3番手で続く。7番手スタートの高橋は少し遅れるが、上位集団の後方にピタリとつける。トップから8番手までは長い隊列をつくり、その中でポジションを入れ替えながらレースは進んでいく。

ポールポジションスタートの針尾大治郎選手が2周目にトップに上がり、インタークラスの山本瑠生哉選手がその背後にぐらいつく。久原は3番手につけ、その後ろに中山を先頭とした集団が続く格好だ。5周目、トップグループの2人は激しい接戦を展開。そんな中、一度は後れを取ったかにみえた久原も再びその差を縮めていく。中山は4番手をキープし、高橋も6番手付近を走行する。

レース終盤、トップの針尾選手は徐々に2番手以降との差を広げていく。その後方では久原が山本選手をかわして2番手に浮上するが、山本選手も久原の直後で激しくチャージする展開が続く。しかし、久原は山本選手の再三の攻撃を抑え込み、2位でチェッカーを受けた。この結果久原はナショナルクラス3連勝を決め、最終戦を前にナショナルJ-GP3クラスの年間チャンピオンが確定した。

4位はジャクソン・マクドナルド選手との接戦を制した中山で、ナショナルクラス2位。高橋はレース終盤にコースアウトがあったものの7位でチェッカーを受け、ナショナルクラス3位となった。



#71中山と#26マクドナルド選手のバトル



ナショナルクラスで表彰台を独占した

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXCEL
Motor Sport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 OTK
KART JAPAN

 FRESHMINT
PERMANENT

 Sabell

 CCI

 SHIBA LIXING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SAFETY SUFFLAGE SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

2026年鈴鹿サンデーロードレース第3戦 参戦報告書



ナショナルJ-GP3クラス:

決勝総合2位(ナショナル1位/NSFチャレンジ1位)◎予選2位

久原 昂士(くはら こうし) 13歳

『自分一人でタイムを出せる力をつけたいと考え、今回は単独で走ることを意識しました。特別スポーツ走行では単独でもペースアップができましたが、単独で走った予選ではあまりペースを上げられず、焦ってしまい、S字区間ではアクセルワークをミスしてリズムが悪くなったため、タイムもダメでした。決勝では講師の方々のアドバイスを受けて予選でのミスを修正できました。スタートではホールショットが決められて、一度ちょっとしたミスで離れてしまったんですが、前の2台がバトルしていてペースが落ちるポイントもあったため、追いつくことができました。3番手を走っているときに(2番手の山本選手の)走りをみられたので、2番手に上がってからも、どこで刺してくるかがわかりました。最終ラップではしっかりと130Rを閉めて2番手を守り切れました。今回ナショナルクラスのチャンピオンにはなりませんが、これまでの勝利は、自分の体重が軽いことが勝因のひとつで、実力はまだまだだと思っています。今回は予選で焦ってしまい走りのリズムを崩してしまったので、次回のレースまでにはそういった点を修正していきたいです。具体的にはメンタル面の改善と、苦手としているS字で、しっかりと下半身を使って走れるように、もっと体力をつけることです』



ナショナルJ-GP3クラス:

決勝総合4位(ナショナル2位/NSFチャレンジ2位)◎予選4位

中山 結互(なかやま ゆうご) 13歳

『スポーツ走行の際には調子が悪く、タイムも25秒台しか出せませんでした。そのため、特別スポーツ走行では乗車位置をリアに移せるように、タンクにパッドを付け、タイムも23秒台にまで削ることができました。これによりリア荷重をかけやすくなったので、コーナー侵入時もマシンを倒すことができ、旋回性も上がりました。単独で走った予選では2分23秒2というタイムでしたが、新品タイヤのため、もっと速いタイムを出さないといけません。またセッションの終盤になるとタイムが落ちてしまいました。前回までの課題は序盤のペースの悪さでした。今回は序盤のペースは良いのですが、逆に中盤のペースが悪くなりました。決勝でも序盤は先頭グループについていけましたが、一度スリップから離れて単独走行になると離れてしまいました。集中力と体力が不足していると思います。また自分は緊張してしまうタイプで、心拍数も高いようなので、トレーナーには呼吸も意識しないといけないとも言われました。サンデーの最終戦に向け、体力をつけていくことを意識したいです。そしてスポーツ走行ではレースを想定しながら、色々試しながら走りたいと思います』



2026年鈴鹿サンデーロードレース第3戦 参戦報告書



ナショナルJ-GP3クラス:

決勝総合7位(ナショナル3位/NSFチャレンジ4位)◎予選7位
高橋 慶志郎(たかはし けいしろう) 12歳

『特別スポーツ走行は調子が悪く、タイムも2分26秒から27秒くらいしか出せませんでした。講師の方々に様々なアドバイスをいただいて実行したところ、予選ではベストに近いタイムにまで削ることができました。しかし、セクター1、2は改善しましたが、セクター3、4は以前よりもペースが落ちてしまったので、次はそこを改善したいです。決勝ではスタートで少しミスをしてしまったんですが、1周目には自己ベストタイムを出すことができ、レース序盤のペースも良かったと思います。しかし、レース終盤にハイサイドでコースアウトしてしまい、その後も走行中に頭がクラクラしてしまうこともあって、最後まで集中して走ることができませんでした。レース序盤から中盤にかけてのペースは良くなりましたが、レース終盤まで集中力が途切れないよう、トレーニングでしっかりと自分を追い込んで体力をつけたいと思います。また、HRSでのトレーニング以外の時間はミニバイクでの練習が中心ですが、CBR250Rなどでも練習ができればと思っています』



岡田忠之Principal

『今回はナショナルクラスの表彰台を久原、中山、高橋で独占できました。3名とも自己ベストタイムを記録できており、そのあたりも評価したいと思います。』

特に久原は、練習から単独で走ることに集中していて、それが結果につながりましたね。中山はまだまだ自力でタイムを出すことができていません。レースと同じような気持ちと緊張感を持って練習にも取り組むことが必要でしょう。高橋はレース中に熱中症の症状が出てしまいました。トレーナーによれば、彼は汗をかく量が多いタイプで、水分補給はもちろんですが、体調面にも気を付けなければいけませんね。今回の結果によって、全日本ロードレース最終戦(MFJ-GP:10/24-25開催)には3名とも参戦することができます。それまでに全日本戦でも通用するレベルにまで持っていきたいですね。そのためには、さらに体力をつけること、そしてバイクに乗っていない時にもどれだけ努力できるかが大事です。久原以外の2名はもっと自分を追い込んでほしいですし、我々もしっかりとそれをフォローしていきます』





MFJ 公認 準国際競技会

鈴鹿サンデーロードレース第3戦



 SUZUKA CIRCUIT
Full Course 2-Wheels(5,821m)

正式結果表

No 27

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	NSF	Rider	Team	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	1	INT	1		針尾 大治郎	Raptor Velocity Racing	Honda/NSF250R	BS	10	2'343.357		2'21.633
2	54	NAT	1	1	久原 昂士	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	10	2'346.384	3.027	2'21.836
3	27	INT	2		山本 瑞生哉	TEAM Ak1TECH TxS	Honda/NSF250R	BS	10	2'347.082	3.725	2'21.756
4	71	NAT	2	2	中山 結互	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	10	2'356.838	13.481	2'22.723
5	26	INT	3	3	J.MACDONALD	JACKSON MACDONALD Racing TTR	Honda/NSF250R	DL	10	2'356.935	13.578	2'22.649
6	36	INT	4		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	Honda/NSF250R	BS	10	2'359.859	16.502	2'22.635
7	23	NAT	3	4	高橋 慶志郎	Team HRS	Honda/NSF250R	DL	10	2'411.184	27.827	2'22.750
8	39	INT	5		金子 寛	らいらく企画 with RG NIWA	Honda/NSF250R	BS	10	2'415.032	31.675	2'24.472
9	87	NAT	4	5	知藤 可穂	TN45 MIRAI Racing with Astemo	Honda/NSF250R	DL	10	2'430.836	47.479	2'25.885
10	55	NAT	5		池 義彦	team55	Honda/NSF250R	BS	10	2'447.339	1'03.982	2'27.619
11	35	NAT	6		村上 正也	Team MURAKAMI with K&T	Honda/NSF250R	BS	10	2'451.412	1'08.055	2'27.868
*1 12	72	INT	6		岸田 慶一	FLEX Racing&チーム とらお	Honda/NSF250R	BS	10	2'455.881	1'12.524	2'22.984
13	6	INT	7		毛利 雅己	Team KOHSAKA 2st保存会	Honda/RS125R	BS	10	2'504.353	1'20.996	2'29.644
14	83	NAT	7		青沼 隆司	K&T with macwestern (株)青沼塗装工業	Honda/NSF250R	BS	10	2'504.529	1'21.172	2'28.737
15	33	NAT	8		江上 淳夫	らいらく企画 with RG NIWA & ライジョ	Honda/NSF250R	BS	10	2'608.443	2'25.086	1'03.914
***** 以上チェッカー *****												
16	89	NAT	9		栗本 志能武	オートスタジオスキル	Honda/NSF250R	PI	9	22'34.264	1Lap	1Lap
***** 以上完走 (規定周回数 7Laps) *****												
	3	NAT			大内田 未来	B-dash106 RS RAIJO	Honda/NSF250R	BS	2	4'54.239	8Laps	7Laps
	69	NAT			向田 寛章	BlackBikeDan	Honda/NSF250R	DL	2	4'54.446	8Laps	-

Fastest Lap

INT	2'21.633 (2 / 10)	147.957 km/h	1	針尾 大治郎 / Raptor Velocity Racing
NAT	2'21.836 (5 / 10)	147.745 km/h	54	久原 昂士 / Team HRS

Start Time :9:15'37 Finish Time :9:39'20

Entry :18 Start :18 Finish :16

*1 No.72は、ライドスルーペナルティ MFJ国内競技規則 付則4 18-4-10-1(ジャンプスタート)

GET-HOT賞、XPD賞は各クラス1位から3位が対象。
ジュベット賞は各クラス1位から6位が対象。
バトルファクトリー賞(NSF 1位) No.54



<https://www.suzukacircuit.jp/sundayr/>

2026鈴鹿サンデーロードレースの公式リザルト・ポイントランキング等の各種詳細
情報は鈴鹿サーキット公式webサイト専用ページにてご覧いただけます。